

I 学校概要

設置部・設置学科	小学部・中学部・高等部
特色ある取組	
本校は、12年間の一貫性のある教育を行っています。自立と社会参加を目指し、それぞれの目標に向かって頑張っていけるよう、児童生徒の生活面、学習面の成果や課題を次年度に引継ぎ、小学部から高等部まで継続した支援ができるように努めています。「あかるく（希望）、ゆたかに（愛情）、たくましく（自立）」の校訓のもと、子どもたちが明るく健康で生き生きとした学校生活を送り、笑顔があふれる姿を目指します。	
地域とのつながり・地域での役割	
小・中学部では、一宮市立西成小学校、一宮市立北部中学校、一宮市立西成中学校と学校間交流を行っています。居住地校交流を希望する児童生徒は、居住区域の学校と年間3回程度交流をしています。高等部では一宮商業高校と学校間交流を行い、文化祭の訪問や部活動の合同練習をしています。また、「避難所体験（防災学習）」の授業に地域の民生委員の方や保護者の方に参加していただいたり、一宮警察署と連携を図りながら交通安全教室や自転車交通安全教室を実施したりしています。 地域での役割として、特別支援学校のセンター的機能に基づく巡回相談や地域の保護者や学校教職員に向けての相談「たんぽぽ相談」を行い、具体的な支援方法や教材教具の紹介をしています。	
高等部卒業生の主な進路	
<一般就労> 製造業、小売業、介護福祉施設等の企業 <福祉就労> 就労継続支援B型、生活介護等の障害福祉サービス事業所 <その他> 障害者職業開拓校、職業能力開発校	
一言アピール	
校門を入り、ロータリーの中心にある学校のシンボルであるけやきの木は、開校から40年以上もの間、子どもたちと共に大きく成長してきました。生き生きと活動に取り組む子どもたちの姿を、平成27年に誕生したスクールキャラクターの「ひがどん」と一緒に今後も見守り続けてくれます。	

2 スクール・ポリシー

このような幼児児童生徒の育成を目指します
児童生徒一人一人の能力や特性に応じた教育を進め、家庭や社会の成員として生活できる人間を育成します。 <小学部> 身の回りのことが自分ででき、友達となかよく活動できる児童 <中学部> 友達との関わりを深め、自分の課題を意識し最後までやり抜く生徒 <高等部> 健康で粘り強い体力をつけ、働く意欲があり、好ましい人間関係が保てる生徒
このように学びます
○ 一人一人の指導のねらいや手だて等を学校と保護者が話し合い、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成して児童生徒の学びを進めます。 ○ 自立活動の目標を明確にし、一人一人の課題を達成するために児童生徒が自主的に行動できる力を養います。 ○ 卒業後の姿をイメージして保護者と共に目標を立て、将来社会の一員として活躍できるように個々の成長を育みます。

